

黒瀬先生、ご結婚おめでとうございます！！

Congratulations on your wedding!



5月12日（土）、都市デザイン研究室の黒瀬武史助教の結婚式が開かれました。研究室の学生達も出席し、黒瀬先生の幸せそうな姿を祝福しました。今回は、結婚式と二次会に出席したマガジン編集部石井さんからのレポートと黒瀬先生からのご挨拶をご紹介します！

text_kashiwabara

学生からの結婚式レポート！

text_Ishi

風薫る爽やかな5月12日（土）、黒瀬武史助教の結婚式と二次会に研究室メンバーと参加してきました。式は本研究室創設者の丹下健三氏が設計した東京カテドラル聖マリア大聖堂で、パイプオルガンの音色と讃美歌が大聖堂全体に響き渡る荘厳な雰囲気の中行われ、新郎新婦の幸せなオーラに参列者一同が包まれるあたたかい式でした。

二次会は溜池山王・山王パークタワーにて行われました。会場は終始笑顔で溢れ、私からみたら雲の上のような存在である黒瀬助教の、学生・日建設計時代のおちゃめな(?)一面も垣間見ることが出来た、陽気な会となりました。

お二人の素敵な記念日に立ち会え、感動と幸福のお裾分けまで頂けた事をとても幸せに思います☆。..*..☆。..*..



▲東京カテドラル聖マリア大聖堂での結婚式



▲2次会での都市デザイン研究室集合写真

黒瀬先生からのご挨拶

黒瀬 武史 助教

一つプロジェクトを終えた時のように、ほっとしたというのが正直な気持ちです。天気にも恵まれて、ただただ幸せな一日になりました。結婚にあたり、色々と考えましたが、一番強く感じたのは自分を形作ってくれた人への感謝でした。たった30年ですが、はじめて自分の過去を少しだけ振り返りました。しばらくは、妻と離れて暮らしますが、新婚気分が長く味わえるかなと前向きに考えています。二人で家庭をつくりながら、少しずつ自分の都市の見方も変わっていくのも楽しみです。最後になりましたが、出席いただいた先生方、アルバムはじめ色々手伝っていただいた学生みなさん、本当にありがとうございました。

福島まちづくりカフェ「まゆたま」訪問記

Interview of Town Cafe "MAYUTAMA" In Fukushima.

M2 仲村 貴文

GWを利用して、福島県伊達郡桑折町にあるまちづくりカフェ図書「まゆたま」にお邪魔しました。福島市の北に位置する桑折町は、奥羽街道と羽州街道の分岐点で交通の要所として栄えた町です。現在、町の事業として旧奥州街道沿いの空き店舗をリノベーションし、町民が気軽に集えるカフェとして運営されています。町民と東北大学都市まちづくり研究会の学生で組織される「まゆたま運営委員会」が中心となり、土日にカフェ図書（お茶を飲みながら店内の本を読んだり、借りたりできるカフェ）を開いたり、ワークショップやライブなどを定期的で開催しています。店内のメニューには、ほとんどが桑折産・福島産の食材が使われており、地域のためのカフェ図書として利用されています。この「まゆたま」というネーミングは、かつての桑折

町の主要産業であった養蚕をヒントに『繭の中のように訪れる人にとって心地よい空間であり、糸をつむぐように、この町の人を繋げていきたい』という願いが込められています。

まゆたま HP は以下

<http://bookcafemayutama.web.fc2.com/>



▲まゆたまの前景



学会論文賞受賞報告

Winning the Thesis Prizes !



都市計画学会、不動産学会の各賞を都市デザイン研究室の先輩方が受賞されました。それぞれから受賞のコメントを頂いてます！

都市計画学会 奨励賞		
江口 久美	「1890年代から1930年代の古きパリ委員会による歴史的環境保全に関する研究 -歴史的記念物をめぐる都市的視点の導入と展開-」	大変嬉しいです。論文のご指導をいただいた西村先生、北沢先生、窪田先生、野原さん、中島さん、阿部さん、永瀬さん、黒瀬さんまた先輩方に感謝申し上げます。
都市計画学会 年間優秀論文賞		
阿部 正隆	「戦前における内務省地方計画構想の一終着点 -地方計画法案・関東地方計画要綱案の策定過程に着目して-」	今回このような形で評価して頂きまして大変ありがたく思っております。戦前の史料を掘り下げる作業は都市・地方計画の生きた証に触れる貴重な経験でした。
大熊 瑞樹	「住工共存地域における工場連携を基盤とした地域ネットワークの重層性に関する研究 -大田区大森南における住工共存地区に着目して-」	お忙しい中、私の論文に協力して下さいった30以上の工場の方々へ「受賞」という形で応えられたことが何より嬉しいです。
傅 舒蘭	「近代の杭州における湖滨地区計画に関する研究」	最初に「面白い」という励ましコメントを下された西村先生、論文の書き方から細かい日本語まで教えていただいた共著者の永瀬さんに、心より感謝しております。
不動産学会 湯浅賞		
矢吹 剣一	「歴史的市街地における空き家再生活動に関する研究 -空き家活用マネジメントと地区再生への展開に着目して-」	みなさま、本当にありがとうございました。これで研究終了、ではなく成果を社会に還元できるよう今後も頑張りたいと思います。



←受賞された都市デザイン研の先輩方。
左から順に、江口久美さん（都市計画学会奨励賞）、阿部正隆さん（同、年間優秀論文賞）、大熊瑞樹さん（同上）、傅舒蘭さん（同上）、矢吹剣一さん（不動産学会湯浅賞）。
皆様、受賞おめでとうございます。

プロジェクト報告

新年度初の現地調査へ！

The first field survey in the new school year!



柏キャンパス主導の田村プロジェクトに、今年度は都市デザイン研究室 M1 の岸畑君が参加しています。



田村プロジェクト

M1 岸畑 明宏

4月21日（土）、22日（日）に田村PJの現地調査を行いました。21日は田村市の見学と、常葉地区のまちづくりの中間報告会に参加しました。22日には都路地区の方との交流会に参加しました。

常葉や田村市の中心部である船引には、昭和の趣のある建物など愛着を感じさせるものが様々に見られました。さらに、通りは綺麗に整備されており、特に常葉には防火のために造られた大通りがあり、広い歩道が整備されていました。常葉地区の中間報告会では、提示したまちづくり方策について厳しい意見が出され、地区の方々が地区の現状についての切迫した問題意識を日々抱いており、冷静にこの問題に取り組もうという気概が感じられました。

以前、緊急時避難準備区域に指定されていた都路地区の方との交流会では、地区の厳しい現状についての詳細や今後取るべき方策について意見を頂きました。全体を通して、地域の方の熱心さと、それに対して自分が一体何を出来るかということを考えさせられる現地調査となりました。今回感じた地域の方への責任を忘れず、プロジェクトに携わっていこうと思います。



▲船引 雰囲気のある裏通り



▲交流会で訪問した仮設住宅群

5月・6月の予定

Information

5月26～28日 大槌PJ現地調査
5月31日 第2回研究室会議
6月16～17日 光月工房

編集後記

柏原 葉那

新年度が始まり、1ヶ月半が過ぎました。外部の大学から入学した私は、新しい研究室に新しいメンバー、そして初めての一人暮らしと、ときどきの日々でしたが、すっかり新生活にも慣れてきました。そういえば、一人暮らしを始めた当初、周囲に一番心配されたのが料理でしたが、ここ2週間程包丁に触れていません...「やっぱり」と言われないようにこれから精進します！